

## 糖尿病対策委員会の現状と未来

三宅仁美

キーワード：糖尿病患者の療養生活支援；地域住民・医療従事者への教育；糖尿病サポートチーム  
(雲南市立病院医学雑誌 2019; 16(1): 171-172)

### はじめに

糖尿病対策委員会は平成27年に設立され、現在、診療局2名、看護部3名、医療技術部薬剤科1名、医療技術部栄養管理科1名、医療技術部リハビリテーション技術科1名、医療技術部検査技術科1名、健康管理センター保健推進課1名、事務部総務課1名の委員11名で構成される委員会である。糖尿病患者の療養生活支援、院内スタッフへの教育、地域住民への啓発活動、地域医療従事者へ向けての教育など糖尿病対策に関することを中心に活動している。

### 糖尿病サポートチーム

糖尿病対策委員会の中には糖尿病サポートチームが置かれ、医師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、療法士、保健師、糖尿病療養指導士、さらに各部署から選出された看護部のスタッフがメンバーとなっている。糖尿病サポートチームの活動内容は、糖尿病教育入院に対しての指導を各コメディカルで実施しカンファレンスで統一したケアを提供すること、糖尿病対策に対する院内学習会を開催すること、地域に向けての講演会・学習会を開催すること、糖尿病教室の運営を行うことであり、毎月1回サポートチーム会を開催している(図1)。

### 今後に向けて

糖尿病の患者数は年々増加しており、65歳以上では、糖尿病が強く疑われる人が5人に1人といわれて

いる。当院の内科以外の入院患者でも併存疾患として糖尿病がある患者は多く、病院スタッフにも糖尿病の基礎知識を持つことが求められている。より質の高い医療を提供するために各部署の糖尿病サポートチームのメンバーは中心的な役割を果たしている。

今後は患者教育・地域に向けての啓発活動に加えて、地域の診療所との連携なども積極的に行っていきたいと考えている。

図1 糖尿病教室のパフレット

Present status and future perspective of the committee  
for diabetes prevention in Unnan City Hospital.

Hitomi Miyake

---

Committee for diabetes prevention, Department of internal medicine, Unnan City Hospital  
Correspondence: Hitomi Miyake, Department of internal medicine, Unnan City Hospital [96-1 Daito-cho Iida, Unnan,  
Shimane 699-1221, JAPAN]  
Telephone: 0854-47-7500 / Fax: 0854-47-7501  
E-mail: hospital-soumu@city.unnan.shimane.jp